＊　これら「＊」ではじまるコメントは執筆時には削除してください。

＊　以下の項目が記されている表紙（A4）を付けてください。デザインは自由です。

【表紙】

ティーチング・ポートフォリオ

大学名　○○○○○

所 属　○○○○○

名 前　○○○○○

作成日　202〇年〇月〇日

* 大学協議会資料より

教員の教育力向上に向けた全学的なティーチング・ポートフォリオの取組について

本学が掲げる「Best Value University（教育付加価値最大の大学）」を目指す上で、教育改革は焦眉の課題であり、教育成果や大学教育の質を向上させていくための施策の推進は、本学の教員としての自覚と本学で学ぶ学生に対する責任を以て社会的要請に応えていく上で、極めて重要であると言えます。

そこで、本学の教員一人ひとりが自らの教育活動について、理念や責務を明らかにしつつ、具体的な活動を記録して振り返りを行うことで、個々の教育活動の質を向上させると共に、それらを組織的に共有することで、大学全体の教育力を底上げさせるために、以下のとおり「ティーチング・ポートフォリオ」の作成を行うこととします。

各位におかれては、かかる趣旨を踏まえて、各学部等における教育活動の活性化を推進頂きますようお願い致します。

1. 東京都市大学　ティーチング・ポートフォリオの定義

　本学におけるティーチング・ポートフォリオとは、本学及び学部学科等の教育理念等を踏まえ、自らの教育活動について、以下の項目に基づいて教育理念から成果までを自己省察等を伴って記載するものとし、これらを裏付ける根拠資料によって構成されるものとします。

（1） 責務（何を行っているか）

（2） 理念（どのような考えに基づいて行っているか）

（3） 方法（その考えをどうやって実現しているか）

（4） 成果（その方法を行った結果、どうだったか）

（5） 目標（今後どうするか）

1. 作成・活用について

(1)ティーチング・ポートフォリオは、原則として教育活動に従事する全専任教員を対象として毎年度作成し、主任教授に提出することとします。

(2)主任教授は、各教員から提出されたティーチング・ポートフォリオの内容の把握を行い、学科等における教育能力の向上に活用することとします。

(3)ティーチング・ポートフォリオの作成・活用に際しては、関連する委員会等と連携して取り組みを推進することとします。

1. 支援について

ティーチング・ポートフォリオの運用にあたり、教育開発機構FD推進センターは各学部等に対して必要な支援等を行うものとします。

1. 公表について

ティーチング・ポートフォリオは、教育改善・教育の質向上に資するため、原則として公表することとします。

１．責務

「＊」ではじまるコメントは執筆時には削除してください。

|  |
| --- |
| ＊ 分量の目安：2-10行（80-400字）＊ ここは教育活動について何をやっているかの概略を示します。＊ 本学において、現在または過去数年間に自身が担当した科目（科目名、必修or選択、学年等）・教育活動（顧問、学務分掌、学科内担当等）を列記します。＊ また、それによって果たしている自身の責務について記述します。 |
|  |

２．理念

|  |
| --- |
| ＊ 分量の目安：12-25行（480-1000字）＊ 自身の教育に対する理念（教師としての自分の特長、大切にしていること、学生への期待や想い等）を記述します。＊ 大切なことは、次項目の方針や方法と対応するように説明をすることです。 |
|  |

３．方法

|  |
| --- |
| ＊ 分量の目安：15-25行（600-1000字）＊ 自分の行っている方法について説明します。まず、全体についての概要を数行で示し、その後に、方針を見出しとし、その方針を具体化している各方法を箇条書きにして示します。＊ 例えば、教授方法、授業の工夫、開発した教材、授業以外の諸活動、自己研鑽などです。（例）概要…方針１* 方法１
* 方法２
* 方法３
 |
|  |

４．成果

|  |
| --- |
| ＊ 分量の目安：4-7行（160-280字）＊ 自分の行った教育活動の評価・成果を箇条書きで示します。＊ 例えば、学生からの授業評価、学生の学修成果として、理解が深まった、興味関心を高めた、進路が決まった、学生が学会等で発表した、学生が表彰された等です。＊ また、例えば、教育活動によって得られた自身の成果として、教育活動に関する発見やアイディア、教育論文や受賞等です。 |
|  |

５．目標

|  |
| --- |
| ＊ 分量の目安：3-6行（120-240字）＊ 教育活動に対する今後の短期・長期の目標を示します。短期目標は達成時期を示しておきましょう。 |
|  |

* 表紙を含め、全体として、3 ～10ページ程度とします。

【添付資料】

* TPの記載内容を客観的に示すためのエビデンスとなる資料項目を箇条書きで列挙します。

（シラバス、開発教材、学生アンケート等、特に特徴的なものを列挙し、必要に応じて、

すぐに確認できるようにしておきます。）